

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【公開番号】特開2001-22281(P2001-22281A)

【公開日】平成13年1月26日(2001.1.26)

【出願番号】特願平11-195589

【国際特許分類第7版】

G 09 F 9/00

G 09 F 9/313

【F I】

G 09 F 9/00 304 B

G 09 F 9/313 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月16日(2004.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を表示する画像パネルと、前記画像パネルを背面から支持する基台部と、回路基板と前記回路基板に実装された回路部品とからなる回路部と、前記画像パネルと前記基台部と前記回路部とを収容する筐体とを有し、前記回路部が前記基台部の前記画像パネルが設けられている側と反対側の面に前記基台部と隙間をあけて支持されているプラズマディスプレイ装置。

【請求項2】

前記回路基板と基台部との距離が、前記回路基板と筐体との距離よりも大きい請求項1に記載のプラズマディスプレイ装置。

【請求項3】

前記回路部が、筐体と基台部との間で、前記基台部から前記筐体に向かう方向に複数の回路基板が配置されている

請求項1または2に記載のプラズマディスプレイ装置。

【請求項4】

前記筐体が、筐体の内外で空気を流通させる通気部を有する請求項1～3の何れかに記載のプラズマディスプレイ装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

本発明にかかるプラズマディスプレイ装置は、画像を表示する画像パネルと、前記画像パネルを背面から支持する基台部と、回路基板と前記回路基板に実装された回路部品とからなる回路部と、前記画像パネルと前記基台部と前記回路部とを収容する筐体とを有し、前記回路部が前記基台部の前記画像パネルが設けられている側と反対側の面に前記基台部と隙間をあけて支持されている。

[プラズマディスプレイ装置]

基本的には通常のプラズマディスプレイ装置と同様の構造が採用できる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

【発明の効果】

本発明にかかるプラズマディスプレイ装置は、基台部の背面側に配置される回路部を、回路部と基台部との間に間隔をあけて基台部に支持しておくことで、基台部と回路部との間に効率的に空気を流通させ、基台部および回路部の放熱性を格段に向上させることができる。基台部と回路部とが熱的に隔離されるので、互いの熱が相手側に悪影響を与えることが防止される。